



もとはし つうしん

本橋通信

第15号
2021年11月

本橋Fαオフィス 電話:090-7909-2111／メール:rmotohashi0419@gmail.com

★★★この本橋通信は、私とご縁のあった方に差し上げている個人通信です★★★

★久々に仕事の相棒のお手入れ…★

皆さまこんにちは。本橋通信第15号をお届けいたします。今月もどうぞ最後までお付き合いください。最近、めっきりオンラインでPC画面での仕事や、対面でもポロシャツ・Gパン＆スニーカーの軽装面談が増えたせいか、長らくたくさんの苦楽を共にしてきた「仕事の相棒」へのケアを怠っていました…

以前は朝早くから夜遅くまで、晴れの日も雨の日もローテーションはありながらも、毎日一緒だったハズの革靴と鞄から、「最近使ってくれないから出番が無くて淋しいな」とか、「たまには綺麗にして、もっと大切にしてよ」といった声が聞こえる気がして、久しぶりに仕事道具のお手入れDayを過ごしました。一つ一つの相棒を手になると、「これはアノ仕事のご褒美で何度も迷って買ったな」とか、「この鞄はFAとして独立してからも30年は使えると思って決めたっけ…」とか、いろいろな想いが蘇り、無我夢中で手入れをしながらの丸半日。みるみるうちに輝きを取り戻す姿を見ると、私もヤル気が漲(みなぎ)ってきました。

実はちょっとお出掛けしたいイベントがあり、たまには靴磨きでもしようと思っただけですが、再び綺麗に輝く相棒と、「もっとこうしたい、ああしたい」という気持ちの整理整頓や切り替え、初心の振返りとなる良いキッカケでした。同時に近くでシゲシゲと細部に目を凝らすと、もう十分一緒に頑張ってくれたかなというギアには感謝してお別れをしたり、もう一度修理するか考えてから決めようかなと踏ん切りがつかずに箱に戻る相棒も… 因みに、従来は仕事の戦闘着だったスーツは約2年近く着ていません為、

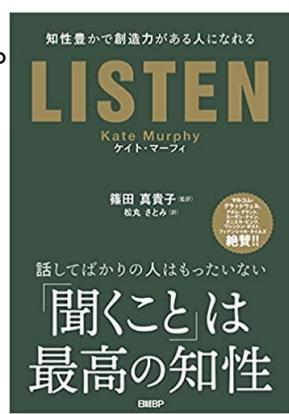


恐る恐るズボンを履いてみると、お腹周りは辛うじてセーフ(笑)。もし一緒に皆さまの前に登場するがあれば、その際は“あーこれが例の仕事の相棒さんだな”とお気付き頂けましたら、彼らも私も喜んで、良い仕事をしたいと思います。※普段が手抜きしている訳ではありません(為念)…

■IFA本橋の本棚より■ ~話してばかりの人はもったいない「聞くこと」は最高の知性~

新聞書評欄のケイト・マーフィ著「LISTEN」がとても気になり読んでみました。巷には「聞く」ためのテクニックやノウハウ、スキルとしての傾聴といったやり方論の本が溢れますぐ、この本はそもそも論としての聞く本質をよく捉え、表現が簡素でアツと言う間に読めてしまう納得感ある良書です。日本でも第100代内閣総理大臣の岸田文雄氏は、「人の話をよく聞く」のが特技とのことで、その聞く力に期待したいです！

「聞く」には、聞く・聴く・訊く(尋ねる)があります。「聞く」は音や声を自然に耳で感じる、「聴く」は音が持つ意味を認識すべく注意して耳を傾けることです。言うまでもなく漢字に耳と目と心が入った「聴く」が、神経を研ぎ澄まし能動的に相手に注意を向けるLISTENな訳です。私たちはきちんと話を聞いてもらえた経験は少ない。聞くことは人生を面白くし、他人との会話は自分の内なる声に影響する。「アドバイス」をしだす人は、きちんと相手の話を聞いていない！日常で家族に耳を傾けることほど難しい…。うまい言葉が信頼関係に必要なわけではない。自分の言葉を忘れ相手話を聞いたり、(自分の)頭の中の寄り道を我慢すれば会話は物凄くおもしろい。「会話」には我慢という技術がいる…等々、気付くとページの角に沢山ドッグイアが折っています！この本の気付きは、お仕事でもご家庭でも、人間関係を円滑にすること間違いなしです。



IFA(Indepent Financial Advisor)本橋の視点

共同通信社さま経由にて、各地方新聞紙面「ライフセミナー」コーナーに掲載されましたコラム:時間と味方に…です。誰にとっても平等に与えられている時間… 時には長く、時には短く、偶にはダラダラ過ごしたり、その感じ方や使い方も皆十人十色で自由なハズですが、資産運用に大切な「時間」の感覚は、「お金」と「友達」です… って、ちょっと嫌な感じ?

Q. 資産運用を始めるのに、一番良いタイミングはいつですか？

A. 世界的な株式市場の急回復、働き方の変化や漠然とした将来への不安などが相まって、初めて資産運用に挑戦したいという若い世代からの相談が増えました。在宅時間に自分の将来を考え、最近ちょっとしたブームにもなっているFIRE(経済的自由を手にして早期退職)を目指してみたいとのことです。しかし、いざ行動となると「今は株価が高いから…」や「どの金融機関の商品で運用すれば…」と悩みスタートが切れない方々もいます。

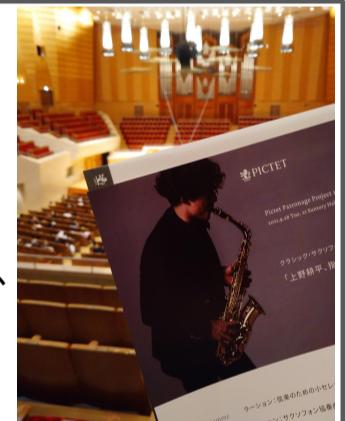
そんな時は、「Time is money.(時は金なり)」誰にとっても1日24時間は平等ですから、悩んでいる時間すらもったいないとお伝えします。まずはどんなに小さくても最初の一歩を踏み出しましょう。最近は100円程度の少額から積立投資が可能なプランもあります。首尾よくスタートが切ったら、次は「Time is your friend.(時間は友達)」できる限り早く始め、長く続けることが着実な資産形成への王道です。そのためには、ある程度の時間が必要となります。

この「時間が大切」というコンセプトは、素早い決断や路線修正、中長期の計画性が求められるビジネスにも共通しています。個人投資家の皆さん、時間を味方につけたお金の経営者ではないかと思うのです。

このコラムのもう一つのキーワードは「FIRE」です。なる早のうちに、あくせく働くよりも不自由なく生活ができる蓄財をし、ある程度の資産運用と節約を組み合わせ、スローライフを目指すらしいのですが…いつまでも様々な人と関わって、投資や消費で社会参加・貢献もしたい、いろいろなことにチャレンジしたいオセッカイ人間の私には無縁の概念かなあ…

◆編集後記◆ ピクテ・パトロネージュ・プロジェクト2021

昨年に引き続き、スイスのプライベートバンク:ピクテ投信投資顧問さん主催のクラシック・サックスフォン・コンサートにお招き頂きました。210余年に渡り欧州の貴族や資産家一族から資産保全の信頼たるパートナーと認められるピクテの事業は資産管理業だけではなく、文化・芸術の支援活動に及びます。コロナ禍でこうした活動を継続することに、並々ならぬ強いコミットメントを感じると共に、秋の夜の素晴らしいひとときのプレゼントに感謝です。



◆今後本通信をご希望されない方は、お手数ですがお知らせ下さいますようお願い致します◆

【発行者プロフィール】

本橋 竜一(もとはし りゅういち)、1974年4月19日生まれ。東京郊外八王子の高尾在住。

早稲田大学卒業後、横浜銀行で金融マンとして社会人をスタートしました。その後、国内(あおぞら銀行、みずほFG、三菱UFG)、外資系(スイスUBS)金融機関にて、約15年間に渡ってプライベートバンキング(ご資産家のお客さま専用金融サービス)を経験し、ファイナンシャルアドバイザーとして独立開業。家族は妻、娘、息子の4人。



趣味はエンジョイゴルフ(スコア3桁でも緑の芝で気分爽快!)と読書(ジャンル無差別:乱読・積読?)

お客さまに対する想い:人生に専属のファイナンシャルアドバイザーがいる安心感を提供したい…

本橋FαオフィスWEBサイトは **本橋 IFA** と検索! <https://www.pfa-withyourlife.jp/>

皆さまからのご感想・ご要望をどんどんお寄せください。

➡ 本橋携帯:090-7909-2111 メール:information@pfa-withyourlife.jp